

令和3年第3回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
9月7日 (火)	1	1	荒木吉登議員	1
	2	2	湊瀬栄子議員	2
	3	3	西川勝則議員	4
	4	4	田川正毅議員	5
9月8日 (水)	5	1	平井満洋議員	6
	6	2	打田清議員	8
	7	3	渡辺督郎議員	9
	8	4	片山智弘議員	10
9月10日 (金)	9	1	佐嘉田敏雄議員	11
	10	2	戸浦善彦議員	12
	11	3	平野直幸議員	13

1. 荒木吉登議員

質問事項 1

パールテクノ西海への企業誘致の取組状況について

質問の要旨

現在、2区画2.3ヘクタールが未分譲となっている西彼町風早郷のパールテクノ西海については、本年6月の定例市議会における私の一般質問に対し、市長から、喫緊の課題であるとの認識とともに今後は県内企業の情報を有する地元金融機関との連携を図りつつ、県外だけではなく県内企業の事業所増設も視野に取り組むこと、及び製造業だけに囚われず様々な業種を対象に取り組むといった考えが示され、その際私からも、長崎県産業振興財団との連携はもとより市が主体的に取り組むことの必要性についても指摘したところである。これらの経過を踏まえ、市としてどう取り組んで来られたのか、その後の経過を伺う。

質問事項 2

市内道路の管理状況等について

質問の要旨

本市の北の玄関口である西彼町北部と長崎市中心部を結ぶ国道206号線は、西海市を南北に縦断し、本市の観光や産業振興の基盤となる重要な幹線道路であるが、近年は長期にわたり雑草が生い茂った状況が見受けられる。また、市道についても支障木や倒木の除去など対応を要する箇所が多々見受けられ、通行者の不便のほか、周辺の景観を損ない本市のイメージ低下も危惧される場所である。そこで、次の点について伺う。

- (1) 道路管理者である長崎県では、国道206号線の除草作業について、年間を通してどのような計画で実施され、愛護団体やボランティア等による除草作業はどの程度実施されているのか伺う。また、市として県に対し、国道206号線の管理に関してどのような要望や働き掛けを行っているのか伺う。
- (2) 年々、異常気象により雨風が強くなり、市道には、倒木や落葉等により通行に支障をきたしている箇所や、側溝に土砂が堆積した箇所も多く見受けられるが、市ではどのようにこれらの現場を把握し、今後どのように対応するのか、考えを伺う。
- (3) 国道206号線から西彼総合支所前の駐車場への入口には、路面に駐車場へ誘導する区分線が無く、特に進入時の判断には気を遣う。事故防止のため、運転者に分かりやすく路面標示等を整備する必要があると思うが考えを伺う。

質問事項 3

山間部の入り組んだ場所での消火活動に関する対策について

質問の要旨

本市には、山奥の入り組んだ場所にある民家が多く、火災発生の際に進入路が狭隘で消防自動車等の緊急自動車の通行が困難な場所が存在し、消火活動にも大きな支障になると思われる。そこで、次の点について伺う。

- (1) 入り組んだ場所にある民家で火災が発生した場合、目的地に最短で到着するための最新の位置及び道路状況を迅速に情報提供できるシステムは備わっているのか伺う。
- (2) 入り組んだ場所にあり、道路状況も悪い現場を想定した消火訓練は行われているのか伺う。
- (3) 軽消防自動車が導入されているが、搭載仕様及び活用上の利点や課題、今後の導入予定を伺う。

2. 湊 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

児童発達支援及び放課後等デイサービスについて

質問の要旨

本市における児童発達支援及び放課後等デイサービスにおいて、待機者がいると聞いている。令和3年3月に策定された「西海市第2期障がい児福祉計画」には、児童発達支援事業所等の増設を検討するとあるが、待機者の早期解消に向けた取り組みが行われているのか、現状について伺う。

質問事項 2

西海市立大島児童館について

質問の要旨

西海市立大島児童館では、児童福祉法の理念に基づく役割に加え、地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全事業、ファミリーサポートセンター事業が実施されているが、施設は耐震補強が未実施で、老朽化も進んでいる。

早急に施設の安全性を高め、子育て支援の活動に支障をきたさないよう改修等を行う必要があると思うが、いかがお考えか。

質問事項 3

子どもの貧困対策について

質問の要旨

長崎県が平成 31 年 4 月 25 日に公表した「子どもの生活に関する実態調査」の調査結果では、本市の子どもの貧困率は 14.0%となっており、県全体の 11.2%を上回っている。そこで、以下の点について伺う。

- (1) 学校の健康診断で要受診と診断されたものの受診できていない児童・生徒について、その要因が貧困にあると考えられる場合、どのような対応がとられているか。
- (2) 貧困により生理用品が購入できないことが社会問題となっており、その解消に向けた取組みが始まっている。本市においても学校のトイレに、トイレットペーパーと同様に生理用品を備えることができないか。

質問事項 4

大瀬戸町板浦郷うんげ地区の河川整備促進について

質問の要旨

大瀬戸町板浦行政区から平成 28 年 5 月に提出された「板浦郷うんげ地区の河川整備促進」についての要望に対し、市からは「要望箇所については、整備検討区間とする」と回答されている。

それから約 5 年が経過したが未だ整備されず、昨年の大雨時にも被害が出ており心配であるとの声が寄せられた。

これまでの対応と整備に向けての進捗状況について伺う。

質問事項 5

市有墓地について

質問の要旨

市長は、令和 3 年度の施政方針で、市内に散在する墓地にかかる調査並びに分筆・測量を実施し、市有墓地化を進めるとの考えを示されているが、既に市有墓地化された墓地の整備に関しても多くの課題があると考ええる。

例えば、大瀬戸町福島西墓地では、法肩が沈下し墓石が傾いたり、墓石の周囲に設置されている塀の一部に亀裂が入るなどしており、大瀬戸町福島東墓地（向島墓地）では、墓地に通じる進入道路の路肩が崩れ土嚢が積まれている状態にあり、付近に住む住民は台風接近などの度に避難している状況にある。

既に市有墓地となっている墓地についても十分な調査を行い、整備を進める必要があると思うが、いかがお考えか。

質問事項 6

西彼保健福祉センター遊湯館の防犯対策について

質問の要旨

本年7月に西彼保健福祉センター遊湯館において、盗撮の被害届が提出される事案が発生している。過去にも同様の事案があったと聞いているが、現在、施設内外の防犯のためどのような対策がとられているのか伺う。

3. 西川勝則議員

質問事項 1

通学路等の安全確保について

質問の要旨

児童・生徒の通学路及び園児の散歩等に使用している道路の安全確保について以下のことを伺う。

- (1) 通学路の点検状況について
- (2) 保育所等において、散歩等の園外活動として使用している道路の点検状況について
- (3) 上記の点検により、危険箇所と確認された場合の安全対策について

質問事項 2

第2次西海市総合計画の廃棄物関連施策について

質問の要旨

今年度が前期基本計画の最終年度に当たることを踏まえ、同計画に基本政策として掲げている「循環型社会の実現を目指すまちづくり」に関して次の点を伺う。

- (1) 計画書の226ページに掲載されている「ごみの排出量」、「ごみのリサイクル率」及び「最終処分率」に係る各数値目標の達成見通しについて、どのように認識しているか。
- (2) 西海市地球温暖化防止対策地域推進計画に基づく市民への普及・啓発の取組み状況について

質問事項 3

西海市水道事業経営戦略について

質問の要旨

施設の老朽化対策等による事業費の増加や人口減少による料金収入の減少等により、今後の水道事業の経営環境が一層厳しさを増すと予想される中、公営企業として、安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画に関し、次の点について伺う。

- (1) 老朽化した管路の更新及び耐震管への更新整備の進捗状況について
- (2) 今後の水道料金の改定見込みについて

4. 田 川 正 毅 議員

質問事項 1

人口減少対策について

質問の要旨

市長は、令和3年第2回定例市議会における所信表明で、2期目の大きな柱として7つの項目を挙げ推進していくことを表明したが、本市の最重要課題である人口減少問題の解決策として、最も有効で優先して取り組むべきと考える施策は何か伺う。

質問事項 2

西海市の産業振興について

質問の要旨

- (1) 令和3年第2回定例市議会における所信表明で、新エネルギー政策課の設置目的を「脱炭素社会に向けたモデル地域づくりや産業、地域振興を強力に推進していくため」としているが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。
- (2) 令和3年4月16日に電源開発株式会社は、松島火力発電所において、石炭をガス化して燃やす設備を新設する「GENESIS松島計画」のため、環境影響評価実施に向けた準備を開始すると発表した。当該計画は市の経済や雇用に波及的效果を及ぼすと考えるが、今後、市としてどのような支援を行っていくのか伺う。

(3) 令和2年第4回定例市議会における一般質問において、造船所を有する県内自治体と連携し、政府に支援を要請する取組みについて尋ねたところ、愛媛県今治市が呼びかけ人となり、造船企業を有する全国30自治体で、「海事産業の未来を共創する全国市区町村長の会」を立ち上げ、政府に対し、共同で造船振興策を働きかけていこうという動きが出ており、令和2年12月8日に開催されるオンライン会議に参加予定との答弁があった。そこで、この会議の内容と、その後の活動状況について伺う。

質問事項3

タイニーハウス建設普及の課題と事業展開について

質問の要旨

今年3月、未来につなぐ西海の森づくり事業の一環として、小迎地区にタイニーハウス（小さな家）のモデルハウスが建設された。建設普及に向けた課題及び今後の事業展開について伺う。

質問事項4

職員の勤務状況について

質問の要旨

最近、職員の体調不良や休職、中途退職が増加傾向にあると聞くが、市長はこのような現状をどのように認識し、また、その原因についてどのように分析しているのか伺う。

また、経験を積んだ職員の退職により、当該部署では職員の負担が増加し、新たな離職者が発生するという負の連鎖も危惧される。抜本的な対策が必要と考えるが、市長の考えを伺う。

5. 平井満洋議員

質問事項1

安全対策について

質問の要旨

本年6月定例市議会の私の一般質問で、西彼町小迎郷・深江地区のニュータウンから西彼北小学校間の国道206号線における歩道整備など通学路の安全対策に関

する質問を行ったところ、市長からは、県や警察等との協議の結果、国道を跨ぐ横断歩道やニュータウン側への歩道整備は困難との見解が示されたことを踏まえ、「一定の方針が出ている状況で、早急な整備を要請する事は困難と考えているが、引き続き通学路の安全確保に向けた協議を行う。」との答弁があった。そこで、この答弁以降、どのような「安全確保に向けた協議」が行われたのか、その後の経過を伺う。

質問事項 2

長崎オランダ村の木製デッキ躯体部分に係る市の修繕義務について

質問の要旨

長崎オランダ村と取り交わしている使用協定書では、木製デッキの躯体部分に係る修繕負担義務は市が負うことと定められているが、市長はこの協定の規定をどのように解釈し、また、市が果たすべき義務をどのように認識し、その上で今後どのように対応する考えなのか伺う。

質問事項 3

旧長崎オランダ村Cゾーンの利活用策について

質問の要旨

杉澤市政も2期目を迎えたことを踏まえ、本市の長年の懸案となっている旧長崎オランダ村Cゾーンの利活用策について、市長の考えを伺う。

質問事項 4

西海市大瀬戸最終処分場について

質問の要旨

西海市大瀬戸最終処分場については、令和3年度において2段目の嵩上げ工事が予定され、数年後には、あと2段の嵩上げ工事を行う計画が示されているが、3段目、4段目の完成後の埋立容量もそれぞれ数年分しかないことを考えると、また、去る令和3年7月28日の厚生常任委員会による所管事務調査で現地を視察した後の所感として、他に新たな最終処分場の候補地を探すべきではないかと感じた。これについて、市長の考えを伺う。

6. 打田清議員

質問事項 1

多目的船「はやて 2 号」の現状と老朽化に伴う新船建造計画について

質問の要旨

令和 3 年度から業務効率化のため、多目的船「はやて 2 号」の運航ダイヤは、本土と江島、平島間を月曜日は 1 往復、水曜日は 2 往復、金曜日は本土と離島間のみを 2 往復と変則的な運航ダイヤに変更されている。

そこで、以下の点について伺う。

- (1) 定期運航ダイヤ変更後の使用状況について、西海市多目的船舶の運航及び管理に関する条例第 5 条の使用区分別の件数、使用者数、乗船率を伺う。
- (2) 緊急運航等の定期運航以外の使用状況について、令和 2 年度の使用区分別の件数、使用者数を伺う。
- (3) 船員の配置状況と勤務体制について伺う。
- (4) 本年 6 月の第 2 回定例市議会における一般会計補正予算(第 2 号)に多目的船「はやて 2 号」の船体老朽化に伴う新船建造事業費が約 152,000 千円計上されているが、現行の「はやて 2 号」は、平成 7 年に約 71,000 千円の事業費で建造されている。原材料等の値上がりを考慮しても約 2 倍の事業費を計上しているのは、何故か伺う。

質問事項 2

西海市一般廃棄物処理基本計画について

質問の要旨

- (1) 炭化センターやリサイクルセンターの稼働により最終処分率やリサイクル率の向上が見受けられるが計画書の 57 ページに掲載されている「ごみ排出量の将来予測」によれば、令和元年度の計画収集人口 27,543 人、ごみ排出量 8,484 トンに対し、令和 17 年度の計画収集人口 20,311 人、ごみ排出量 6,945 トンと年間のごみ排出量は減少しているものの 1 人 1 日当たりのごみ排出量は増加する計画となっていることから、その理由を伺う。
- (2) 計画書の 63、64 ページに掲載されている「排出抑制・再資源化計画」に掲げている 6 つの排出抑制のうち、「①環境教育の充実」「④厨芥類の減量」について、具体的な取組み状況を伺う。

質問事項 3

西海市消防団の現状について

質問の要旨

近年、異常とまで言われるような気候変動の影響により、本市でも大型台風の襲来や大雨による被害が発生しており、今後も自然災害の頻発が懸念される中で消防団の存在意義は益々高まっており、地域防災力の中核として重要であることは明確である。

そのような中、本年6月の第2回定例市議会において、消防団員の定員割れの状況や消防団員の確保についての質問に対し、機能別消防団員制度に関し、「消防団OBが経験豊富な知識及び技能を生かして、消防団の活動に携わって頂き、平日昼間の火災の初期消火や大規模災害時の避難誘導など、有事の際に、基本団員の後方支援及び補完的な活動をして頂くというもので、自主防災組織との連携も併せて、その導入に向けて取り組んでまいります。」との答弁があった。

基本団員の確保が第一ではあるが、現状は平日市外で勤務し、日中不在となる団員が増加している事に鑑みれば、早急に機能別消防団を設立する必要があると思うが、具体的な導入計画について伺う。

7. 渡 辺 督 郎 議員

質問事項 1

雪浦ダムの維持管理について

質問の要旨

- (1) 雪浦ダムからは長崎市への上水道用の送水が行われているが、平成28年度から令和2年度までの5年間における年度ごとの送水量について伺う。
- (2) 国の「事前放流ガイドライン」に基づき、県、長崎市及び西海市との間で治水協定が締結されていると思うが、近年の水害激甚化を背景に適切な洪水調節の重要性が増していることを踏まえ、当該協定に基づく事前放流の判断基準及び実施する際のルールについて内容を伺う。
- (3) 8月の大雨の際、雪浦ダムで実施された洪水調節はどのようなものだったのか、また、治水協定に基づく事前放流は実施されたのか伺う。

質問事項 2

市道通行止めに対する対応について

質問の要旨

- (1) 近年、本市においても、台風や大雨による道路の通行止めが頻発し、その都度市のホームページや公式 LINE 等により周知されているが、その際、迂回路の情報についても併せて周知できないか伺う。
- (2) 主要な通行止め区間の始点と終点の場所に迂回路を示す案内板等を設置できないか伺う。

8. 片山智弘議員

質問事項 1

D X 推進の取り組みについて

質問の要旨

- (1) 令和 2 年 12 月に総務省が公表した「自治体 D X 推進計画概要」では、自治体 D X 推進の意義として、住民の利便性向上、業務の効率化、それによって人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことなどが挙げられており、現在、喫緊の課題となっているコロナ禍や自然災害等における市職員の業務の負担軽減等にも大いに寄与するものと期待される。そこで、本市における D X 推進の戦略や方針、今後のスケジュールなどについて、市長の考えを伺う。
- (2) 同計画概要では、政府が決定した目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」と示されている。また、市長は、令和 3 年第 2 回定例市議会における所信表明で「高齢の方でもスマートフォンを活用できるよう、講座の開設も必要」との見解を述べられている。そこで、デジタル化の推進に伴う高齢者への配慮や最低限のスキル確保に向けた取り組みについて、市長の考えを伺う。
- (3) D X 推進や G I G A スクール構想においては光回線などの高速インターネット環境の整備も必要となる。

本市では令和 3 年度までに市内全域で光回線の環境が整備され、令和 2 年度の公立公民館 W i F i 導入事業により一部の公立公民館では既に W i - F i 環境も整備されている。そこで、市が管理する公民館、公共施設及び観光施設等への W i - F i 環境の整備状況と今後の整備計画について伺う。

質問事項 2

西海市の観光政策について

質問の要旨

- (1) 第2次西海市総合計画の148ページに記載されている基本目標では、「年間の観光入込客数」について、平成27年度現在の928,881人に対し、令和3年度目標を1,200,000人としている。そこで、令和2年度の入込客数の実績と今年度の見込みを伺う。
- (2) 長引くコロナ禍で市としても観光を呼びかけづらい状況にあるが、観光業は全国的に低迷しており、対策が必要と考える。そこで、今後の「withコロナ」の社会における本市の観光政策に関して、市長の考えを伺う。

9. 佐 嘉 田 敏 雄 議員

質問事項 1

災害対策について

質問の要旨

本年8月は、停滞する秋雨前線の影響で記録的な大雨となり、本市に「大雨特別警報」が発表され、市民に対し警戒レベルが最も高い避難情報である「緊急安全確保」を発令した。

本市でも、大雨により家屋敷地内の排水が追い付かず床下浸水が発生したほか、敷地内で崖崩れが発生し、土砂が住宅に流れ込む被害が発生したと聞いている。

また、農地においても同様に水を含んだ土砂が大量に流れ込み、農道や農地に大きな被害をもたらした。

近年、気候変動の影響により、自然災害等は激甚化・頻発化し、いつ何が起こるかわからない状況にある。市民の安心安全はもとより命を守る生活環境整備は行政の役割として重要な課題である。

そこで、次の点について伺う。

- (1) 住宅等に被害を受けた市民に対する支援策について、どのように考えているか伺う。
- (2) 農道や農地の災害のうち、国や県、市の補助対象外となった農業被害に対する支援策について、どのように考えているか伺う。

10. 戸 浦 善 彦 議 員

質問事項 1

地域に寄り添い、地域と共に歩む行政について

質問の要旨

- (1) 行政区長を通じて提出される各地区からの要望に関し、市民から「行政の対応が遅い」との不満の声を耳にする。要望内容は恒常的に道路関係の案件が多く、また、昨今の災害対応等もあり、事務処理の負担が建設課や農林課など特定の部署に偏在していると思われることや、現在の総合支所の人員体制や予算では総合支所自身で完結できる案件は決して多くないと思われることから、本庁の人員不足、業務量に見合う体制の未整備、総合支所の機能が十分ではないことなどが、冒頭の不満の声の遠因となっているのではないかと推察する。そこで、常勤・非常勤や直営・委託など任命や実施の方法を問わず、総合支所への人員配置と自らの権限で直接的に執行できる予算配分の増額等により、緊急度の高い要望への迅速な対応、延いては市民満足度の向上に繋がる体制整備、併せて本庁と総合支所間の要望対応に係る業務負担の平準化が検討できないか、市長の考えを伺う。
- (2) 急傾斜地崩壊対策事業の採択基準について、県事業で施行する場合は、急傾斜地の高さが 10 メートル以上で人家がおおむね 10 戸以上、市事業で施行する場合は、急傾斜地の高さが 5 メートル以上で人家がおおむね 5 戸以上となっているが、毎年のように発生し激甚化している災害状況を踏まえ、県事業における採択基準の緩和の要望及び市事業における採択基準の緩和の検討ができないか伺う。
- (3) 災害で個人の住宅やその敷地に被害があった場合に、その復旧資金を無利子で融資する制度の創設を検討できないか伺う。
- (4) 国道 202 号線小迎交差点から川内木場橋までの区間における道路改良工事の進捗状況について伺う。
- (5) 市役所職員や教職員が市民の信用と信頼を得るには、西海市に居住するのが第一と考える。
そこで、市役所職員と教職員の市外在住者数の割合と人数、それについての市長及び教育長の見解を伺う。
- (6) 市民サービスの向上には民間事業者との連携が不可欠と考える。現在、西海市と日本郵便株式会社の包括連携協定締結に向けた準備が進んでいると聞いているが、その進捗状況と今後の取組み方針について伺う。

11. 平野直幸議員

質問事項1

災害復旧工事の対応について

質問の要旨

本市では、令和3年秋雨前線の猛威によって、これまで経験したことのないほどの豪雨が発生し、道路・河川・田畑等に甚大な被害を被った。なにより、被災した道路・河川・田畑等は一刻も早い復旧が待たれるものであり、これらの災害復旧にあっては市役所の総力を傾注して対応して頂きたい。

さて、今回は、過去の被災箇所ですべて再び災害が発生したこと、市民生活の面からは、ライフラインが断絶されたこと等について十分な検証の必要があると考える。

これ以上災害を拡大させない、また、再発予防の観点から、重要な災害対応のコンセプトであると思慮する。

そこで、災害復旧は原形復旧が原則ではあるが、早急な市民生活の回復及び工事施工に予防施策を追加する提案を含めた以下について、市長の考えを伺う。

- (1) 市民生活を回復するために、速やかに応急的な仮工事ができないか。
- (2) 災害箇所の状況に応じた復旧期間短縮の工法が検討できないか。
- (3) 再び災害が発生した箇所を含め、災害復旧工事の工法に係る検討はどのように進めていく考えか。

質問事項2

観光政策について

質問の要旨

観光振興計画の上位に位置づけられている第2次西海市総合計画の146ページにおいては、「魅力ある地域資源を活用した観光業の振興」を目標に掲げ、基本政策方針の後段には、「観光資源を面的・有機的に融合させるとともに、近隣市町と連携して広域観光ルートを造成し、交流人口の拡大を図ります。」と記述している。

そこで、本年度は、前期基本計画の最終年度に当たることから、重要と考える観光政策の課題として次のことについて伺う。

- (1) 新たな「観光振興計画」の策定概要と策定期間について
- (2) 「七ツ釜鍾乳洞公園」一帯の整備方針について
- (3) 「伊佐ノ浦公園」の整備拡充について

質問事項 3

「西海市史」編纂について

質問の要旨

本市は、新市発足から 17 年目を迎え、西海市としての歴史的事象も積み重なり、これを記録すべき時期に来ていると考える。

そこで、「西海市史」の編纂発行について所信を伺う。

- (1) 西海市史編纂の準備室が必要と思うがどうか。
- (2) 編纂委員会の設置が必要と思うがどうか。
- (3) 財源確保として、ふるさと納税を活用した基金の設置が有効と思うがどうか。